高校阿倍野新聞

発行所
大阪市阿倍野区阪南町中一丁目30番34号
大阪府立阿倍野高校
新聞部
編集責任者　勝信一郎　正井昭夫

この新聞は　クラブ活動の一環として新聞部が編集・発行を行ない、記事の最終決定権を持っています。

今日も（日）なんとなくすぎてしまった。これじゃあいけない！
南舎二階 新聞部室へ
部員募集！　新聞部

# 甘えちゃいけない高校生活

入学おめでとう！君達はもう高校生。今、高校は大学の予備校化されて、その実態が問われている時期にある。この問題多き高校で君達は、青春の貴重な三年間を送ろうとしている。そして、悔いの無い青春を送ろう！ことの意義、その目的をじっくりと考えてみる必要があるだろう。

## 阿倍高内の自治について

阿倍高は五十年の伝統をもつ学校である。君達の中にもこの伝統に魅力を感じて入学してきた人も少なくないであろう。

では阿倍高とは高校とはいったいどんなものなんだろう。

高校は義務教育じゃない君達が望んでやってきたはずだ。それを念頭においておく必要がある。当然先生方も君達が予習、復習をやってきているものとみなして、授業を進められる。後もどりしたり、わからない人の為に教えたりされないつまり授業についていけない者のつき合いは授業中にはされないわけだ。かと言ってこわがる必要はない。授業をきちんと聞いて、不明点があれば、先生に質問をすれば問題はない。

話題を自治会にうつしてみよう。

自治会というのは、阿倍高生全員、つまり君達を含めた阿倍高生一人一人が自治会の会員である。そのなかから中心となる執行部を年二回、六月と一月ごろの二期にわけて選出する。ポストには、会長、副会長、書記、会計の4ポストに加え、学年代表というポストがある。学年代表というのは、一年生の間だけで選出する一学代、二年生の間だけで選出する二学代、三年生の間だけで選出する三学代に分かれており、それぞれ男・女の2ポストがある。

執行部が行政機関なら、立法機関は議会であろう。議会は、各クラスから選出された男・女二名からなる議員より構成されるもので法案の審議の他に、選挙の管理などもする。

議員の他にも風紀・集会文化・運動・保健・会計・書記などの各種委員が男女二名づつ、各クラス会長・副会長がそれぞれ選出される。それらの各種委員は、文化祭・体育祭などの行事や、大清掃の時のいろいろの役割や、各クラスの仕事にあたり、それぞれ委員会委員により、その編集が行なわれる。昨年度は聖火の編集が行なわれず、新学期に君達が手にする可能性が結成される。

前執行部のメンバー

他に、自治会機関誌として年に一回配布される「聖火」がある。これは執行部議会より推薦された聖火編集委員長を中心とする編集は全くないものと思われる。

最後に家庭クラブというのを紹介しておこう。

これは、阿倍高の女子なら全員がその会員となり、その中から執行部が選出される。現会長は三年生の田辺真樹さん、副会長は二年の田上敬子さん、書記は二年の坪井美稚子さんと二年の前畠君江さん、会計に二年の川人弓子さん、二年の久保美幸子さんがあたっている。そして

一、会員の自主的研究
二、教育的分野（講習会等）
三、奉仕的分野（花などの校内美化）
四、社交的分野（ティーパーティ、送別会等）

の四つの軸から組織されている。また、六月と十一月に総会が行なわれ、十一月の総会には、執行部の選出が行なわれる。また、男子も参加可能なクッキングセミナー等も行なわれている。

以上が阿倍高の紹介である。あとは生徒手帳を見てもらえば十分である。

## 阿倍高の教育課程

単位・欠点・原級留置

単位制度とは、週一時間の授業の教科・科目を一年間修めると、一単位となる勘定で、一週間に三時間の科目ならば三単位ということになる。単位を修得するためには、出席や考査の成績、授業の態度などが総合的に評価の対象とされるから、それぞれの科目に、熱心にとりくむということが大切になります。

考査の成績についていえば、定期考査において、各教科担当の先生が、これ以下の成績では、その科目を満足に修得しているとはいえないと判定した点が、いわゆる「欠点」である。

「欠点」の段階で個々に指導をうけ、その指導内容に基づいて課題・宿題が出され、それでも満足な修得・理解がなされず、また、やる気のない場合には、たとえそれが一科目であったにしても、原級留置となってしまう。

どの科目にも、まじめにとり組んでいれば、よほど出席日数が少なかったり、平素の態度がよほど悪くない限り原級留置になることはないが、やる気のない者には、ついて行けない場合が多い。

選択科目

48年度の教育課程の改正によって、一年生と二年生についての選択科目は、芸術の選択だけである。今までの教育課程では、二年生の女子の家庭科の時間に、男子が選択を行なっていたのだが、現行のものは、男子のその時間に体育を行なうということになっている芸術の選択については、前もって希望調査が行なわれているはずであるが、美術・書道・音楽について、一科目を一年間単位で選択することができる。他は、数学、現代国語、古文、漢文、地理、世界史、地学、生物、リーダー、グラマー保健、の既成の教科がある

ところで、三学年になると、進路の関係などから科目の選択が一部できるようになっている。

君たち一年生諸君には、現在、直接関係のないことではあるが、のちのちのためにも、ここに少し触れておくことにする。

まず、理科に於ける選択であるが、一年では生物・地学、二年では、物理・化学の理Ⅰ（基礎的段階）と呼ばれる分野を学ぶが、三年になると、物理・化学・生物・地学の各Ⅱ（専門的段階）のうち一科目を選択する。

それとは別に、国語・社会・英語・数学・芸術・理科（必修での選択を除く）家庭（女子のみ）の中から六単位の選択が設定されている。どの科目を何単位選択するかは、現在、検討が加えられている段階であり結論は、まだ出されていない。

## 阿倍高この一年

新入生の皆さん、入学おめでとう。阿倍高生となられた御気分はいかがかな?!〝高校〟という場にとまどいを感じておられる方もいらっしゃるのではないでしょうか。そこで一足先に、阿倍高の一年間をのぞいてみましょう。

まず四月。今日の入学式を終えると、九日に対面式。初めて先輩と顔を合わすことになります。中旬にはクラブ紹介もあり、遠足もあります。

五月になると、クラスマッチがあり、バレーボールやバスケットなどで一日が過ぎます。クラスの親睦も一段と深まります。体力測定もあり、最初の中間テストも月末のお楽しみ。

衣がえの六月は、家庭クラブの総会があります女子は全員出席しなければなりませんが、男子には御縁のない場所。また自治会選挙も行なわれます。一年生の中からも大いに立候補して下さいネ。

七月は期末テストで始まります。テストのあとはキビシーイ水泳講習。まっ黒に焼けて水泳もきっと上達することでしょう（?）そして二十日に終業式。このあと一年生全員の夏季行事がありますよ。月末には体育大会。中学よりも大規模で、応援合戦などもあり、華やかに催されます。

十月は衣がえ。また、年間の最大行事でもある文化祭が催されるのもこの月です。文化クラブのすぐにわかりますよ。

テスト休みのあと終業式を迎え、冬休みに突入。

年が明けて一月。八日の始業式。中頃にまた実力テストがあります。

二月に入ると、今度は放課後を使ってのクラスマッチ。クラス内のガッチリとした団結で、冬の寒空の中の試合もよい思い出になるでしょう。金剛登山もあります。二年生も参加するが、前回は雪がなくて、さんざんでした。今度はどうなることか――　二十五日に卒業式が行なわれます。三年生がいなくなって急にひっそりしますョ。

三月に入るとすぐ学年末テスト。中には二年進級のための最後のチャンスとあって必死の人も。そんなことにはならないように……　テスト休みに希望者のみでスキー講習が行なわれ、十五日の終業式で一年間が終わるのであります。

## 針子

まずは新入生の皆さん、御入学おめでとう！こうして真新しい匂いをクンクンにおわせられると、針子も自分の入学当時を思い出してしまいます。▼針子は予備知識なく、この阿倍高に入学したのでした。「君達一年生は新館。」と、言われてもどれが新館か……？って。阿倍高は校舎に限らず、先生方も、図書館も、制服も、みんなみんな光沢がありますね。それは伝統のある阿倍高ですからね。でも、大丈夫。あなた方ももう半年もすりゃあ、阿倍高カラーに染まるでしょうから。（染まるのが良いのか悪いのか針子は知らぬ）▼阿倍高は他校に比べておとなしいと聞かされたことがあります。どうおとなしいのかこの一年でよーくわかりました。▼阿倍高にはおよそ四十のクラブがあります。ええ、本当に四十のクラブがあるのですよ。その中からあなたはどのクラブを選ぶかな??（どのクラブがあなたにいいのかは針子は知らぬ）▼とにかく、阿倍高に入学したからには覚悟が必要ですぞ。針子も新年度に際して針に一段とみがきをかけねば。針先はいつもピカピカで、針穴から阿倍高をのぞいては、チクチクしていないと、阿倍高はダメになってしまう。ナンテ言うたのもしいのは現れんのか?!自治会も立候補者すらいないし……。皆が皆、ドッシリとすわっていたら学校側がチャンとこん立てしてくれるからって思ってるとは針子は思いたくないですね。▼針子は何がいいのかわからなくなってきたけど……そう、結局は、あなた自身の目でこの阿倍高を見て、自分で考えなきゃいけないのでは?!だって、ここ阿倍高において青春の三年間（?）を送るのはあなた自身なんだもの

――針子――

# 新入生に贈る言葉

入学おめでとう！期待と不安のいりまじった気持ちで、今日の入学式を迎えた君達。新しいクラスも発表された。〝僕の担任、どんな先生…やろ？〟――まずは、クラス担任の先生方から君達へ一言。友達だけでなく、先生方とも親しくなってもらいたい。

**一組　木下先生　体育科**

入学おめでとう。今日から高校生としての新しい経験がはじまろうとしている小学校、中学校とは違ったもっと大きなスケールのものかもしれないし、小さなものかもしれない。が、しかし、それらの経験に対して、がむしゃらに、貪欲にくらいついていってほしいとにかく、これから三年間は君達と、ケツをたたいたり、たたかれたりしながら生活をしなければならないまあよろしく頼む。

**二組　藤村先生　社会科**

人は誰でも希望の灯を掲げることができるし、その灯はより明るく、強いことが望ましい。しかし、それを明々と燃やし続けることはそう容易ではない。我々は、「掲げる権利」を持つと同時に、「権利を守る義務」を持つのだ。

シャボン玉のように、はかない美しさでなく、消えることのない希望の灯を、高校三年間、どうぞ、立派に燃やし続けてください。

**三組　広末先生　社会科**

希望を胸一杯に満たして入学してきたことでしょうが、現実の生活は、希望通りにいかないこともままあるでしょう。しかし、決してくじけず、仲間の中に我々教師の中に不満や要求をぶつけてきてください。

互いの要求をぶつけ合う中で、仲間を認め合い、一人ひとりの生活を大切にする。そうした生活を基盤にして、阿倍高に学んだことを誇りに卒業していけるよう頑張りましょう。

**四組　平塚先生　英語科**

二十六回生を送り出して一息いれる間もなく、新しい一年生を迎える。

――時々の行事にまつわる思い出を振り返った後に自治会活動や勉強に関しては総じて消極的であったこと、個人の願いを全体の要求へと積み上げる努力が不足していたことを、つつましく反省する答辞を残していった彼等――高校生活のスタート台にある諸君と共に、君達の先輩の語りかけるものを考えていきたい。

**五組　大村先生　英語科**

ここに一枚の写真。おかっぱ頭、紺のレインコート黒の靴下、右手には傘、後ろの板壁に小さく貼出された数字の列、嬉しい笑顔を浮べた幼い顔。雨あがりの合格発表の日の私だ。解放感と安堵感と少しの不安。けれど期待と希望で燃えている。……それはそのまま皆さんの姿だろう。いつまでも続かないし、しばしば打砕かれることはあってもその時の新鮮さを入学後もなくさないでほしい。

**六組　辻本先生　英語科**

人間の生活エネルギーの運動にとって、敵とは人間の強弱ではなくて仕掛けの善悪にある。今、人生のひと節をこえた君達が、この先希望と不安と緊張に充ちた青春を生きるに際し、生活のすみずみまで隈なく意識の眼をめぐらして、いかなる仕掛けを発明するのか、楽しみにしている。君達の発明のプロセスに立合いながら、私も自らの発明になる青春の装置を力のかぎり作動させてみたい。

**七組　杉野先生　国語科**

新入生のみなさん、おめでとうございます。義務教育を終えて、自分の意志で進学され高校生活に入られる喜びはどんなにか大きいことでしょう。また、それと同時に御家庭及び社会のあなた方によせる期待も大であることを忘れないで、誠意と努力と協調の三つを心掛けることによって、自分の希望と才能をこの三年間に十分生かして、有意義な高校生活を送っていただきたいと願って居ります。

**八組　石川先生　理科**

入学おめでとう。大きな喜びと希望に胸をふくらませて、高校生活を如何に過ごすかを考えていることと思う。高校時代を最も充実させるには、やはり正規の授業を中心に一歩一歩徹底的に勉強すると共に、理想、人生、生活などについての種々の問題も、先生、友人とも話し合って、皆の叡智でお互いを高めるよう努力する過程に於て、人間として大きく成長し満足できる高校時代になると信じます。

とはいえあまり関係のないことばかり書いていると次の新聞からは雑役にまわされるかもしれませんので少し具体的なことにふれてみたいと思います。

さて喜びにあふれている皆さん、皆さんに冷水をかけるかのように、『実録阿倍野高校』の断面を予告編程度にお見せしましょう。

まず一番の問題は自治会の沈退化でしょう。今年の二月に公示された執行部役員選挙の立候補者が未だゼロ。昭和48年度の予算も二月に決まったばかり。今、事務的な仕事は旧執行部が代行していますが、自治会活動はほぼ停止状態です。一方阿倍高の規律の厳しさには定評があり、PTAのおばさま連中の受けはいいそうです。規律が厳しいということは、我々が快く学校生活を送れるように申しあわせがしっかりできているということですので、それなりに意味があり歓迎すべきでしょうが、この規律の意味を取りちがえやたらふりまわす方が若干いて困っています。生徒の方も我々の申し合せであるにもかかわらずただ従順に守っているだけというようすです。

他に制服の自由化問題などもありますが、今のところあまり表だった動きはありません。

新入生の皆さん、予告編はどうでしたか、八日からロードショウです。皆さんは全員A席でこの映画が楽しめることになります。ただし、出演者は皆さん方でもあるわけです。

## 編輯後記

**ソフトムードの今回の新聞の中でいやに真面目な編集後記らしからぬ編集後記**

僕はこの新聞を作っていて、何故新聞を作るのだろうと切実に考えた。そして〝真実が何であるかをつかむため〟という実にありふれた解答にたどりついた。この答は、精密なガラス細工のように光り輝いて美しいが、ふとしたはずみで簡単にくずれてしまう。

そのようなことはありません。⇧宣伝

ところで〝校内の諸問題〟などといういかめしい見出しのついたこの記事も半ばまできましたが、なかなか本題に入らないなあと思っているかもしれませんが賢明な読者は、今までにもいくつかの問題が示唆されていたことに気づいたことでしょう。

# 校内の諸問題

間もなく我が新聞部に入部されるであろう人々を含む多勢の新入生の皆さん、入学おめでとう。

おそらく皆さんは「おめでとう」のイナゴのような大群にそろそろうんざりしている頃だと思います。近所のおばさん達から、今日初めて会ったばかりの阿倍高の先生方からも、ひょっとすると見知らぬ人まで、ニコニコと微笑まじりで「諸君おめでとう、がんばりたまえ。」などと激励してくれます。確かに一つの大きな人生の難関の勝利者として元気ハツラツの皆さんの一声だと思うのはあさはかです。たとえばあのクラブ員の勧誘合戦です。ふだんは苦虫をかみつぶしたような先輩方が、好意の権化となってせまってくる姿に一皮むけばシゴキの鬼と化す狼を見出さなければなりません。（本校は生徒数の割にクラブ数が多いのでどこのクラブでも部員の確保にヒイヒイ言っています）

断っておきますが新聞部はこのクラブでも部員の確保にヒイヒイ言っています）

## エッセイ

御入学おめでとう。高校生活に多くの希望を胸に、やる気一杯で張り切っている君達に、ここでまだあの一年前の合格発表の感激も新たな先輩の一人が一年を振り返って感じた事を二・三書いてみる。

中学と高校との違いの一つに欠点・留年制度があるのは、既に一面を読んで詳しい内容まで知られたことだろう。そこで学習についてだが、私の苦い経験から言って、第一回目のテストすなわち一学期の中間テストで頑張ってよい成績を修めることが君達の第一目標であると思う。最初にある程度いい成績をとると、二回目、三回目……もそんなに下がる事なく、ほぼ一定して進む事ができる。私の場合、一回目からひどすぎた。後々、多少勉強しても周りの皆もするのだからそうそう簡単には上がらない少し気を許すとガタンと落ちち、少し頑張ってもドーンとは上がらないのである。学習方法等という問題は、既に自分自身に合った方法を会得しておられる方もいるだろうし、かえって私が教えてもらいたい位であるだが、毎日の復習と共に予習に力を注いだ方がいいと思う。そして、ある教科に片寄った学習でなく、時間割をよく考慮して、時間配分をするとよい。参考書や問題集は教科担当に指導をお願いした方がいいと思う。そして〝休日の利用の仕方〟ここにあらゆる個人差がでてくる様だ。土・日曜日は一週間のまとめと次週の計画などにあてて、有意義に過ごす様努力しよう。〝毎日を確実に過ごす〟これが一番大切であり、その成果は、夏・冬及び春（二・三年のみ）の各休みあけに行なわれる実力考査で明確になる。学年の席次がはっきりするので私の場合は一番の刺激となった。

次にクラブについて。歓誘に必死になっている上級生を見て多少驚かれたかも知れないが、選択は慎重に「ここはどうかなあ。」と思ったクラブに一週間位仮入部してみるのもいいだろう。そして、最終決定したなら、最後までやり抜いて欲しい。所属する者は、入部しない者より、当然ながら時間に束縛されるのだから、残りの時間を一層大切に使うよう心がける。くれぐれも、クラブ活動の上に学習が乗っかる状態にはならない様、注意して励んでもらいたい。これはまさしく実感だ。いくらクラブで活躍していても生活の基盤である勉強をおろそかにして、成績不振というのでは学校がつまらなくなってしまう。

何かしら、説教じみたコチコチの感じになってしまったが、高校はおとなに一歩近づいた人達の集まりであるのでいろんなことを自由に行動できるのも事実である。ただ、そこには、〝責任〟が伴うが。すべて筆者の経験で、狭い視野での事なので、君達に大して役に立つとも思わない。しかし、楽しく素晴らしい高校生活を送る権利を得た君達の新鮮な心の中に、このエッセイが少しでもファイトの出る息吹を吹き込んだならとてもうれしい。頑張って下さい。

## MANGA

写真部
部員募集！
入部希望者は
部室または2―6の部長松下まで

校内食堂
みのわ
セルフサービスですヨ
めん類、ジュース　その他
やさしいおばさんの手料理デス

卓球部員求む！
前年度大阪府下120校中第9位
今年は近畿大会を目標にがんばっています
卓球に燃える男女大歓迎
またマネージャーもよろしく
入部希望者は旧講堂へ